

読書週間におすすめの本



読書週間特別貸出

貸出日 5月26日(木)～6月27日(金) 3冊

返却日 7月4日(金)までに返却しましょう

新型コロナウイルスという怖い感染症が全国に蔓延していて、外出もままならないですね。そんな時こそ本を読んで心に栄養を蓄えてください。

読書は、色々なことを教えてくれます。自分で答えが見つけれないとき、誰かに相談できないようなことでも、本は答えを出してくれると思います。

多くのジャンルの中から自分に合った本を見つけ、本の中を旅してください。主人公になったつもりで、酔いしれてみてはいかがでしょうか。

ここに紹介した本はごく一部です。本を探すときの参考にさせていただければ幸いです。

2020年6月 高瀬中学校図書館

第66回読書感想文全国コンクール課題図書紹介

【天使のにもつ】 itou mik/著



風汰が通う明功中学校では、2年生の6月に5日間の職場体験が行われます。風汰が選んだ体験先は、「エンジェル保育園」です。なんでこんなところ選んじやっただろうと最初は不安だったが、子どもたちと生活していくうちに保育士という仕事や、仕事への姿勢を感じていきます。

これから、みなさんも職場体験をする訳ですが、風汰君と同じ保育園を希望する方もいるでしょう。とても愉快的な物語ですので、どうぞ、読んでみてください。

【平和のバトン】 弓狩 匡純/著

「このままでは原爆のことが忘れられてしまう」と、勇気を振り絞って話し始めた被爆体験証言者の記憶を、広島市立基町高校創造表現コースの生徒たちが一年をかけて油絵に描いて記録する、「次世代と描く原爆の絵」プロジェクトに参加した様子が描かれています。証言者と密に接することで、平和な広島で今を生きる高校生たちが戦争や原爆を見つめなおしていくさまを綿密に取材して、平和について考えるノンフィクションです。

私たちは、幸運なことに平和な世界に住んでいます。とはいえ、その本当の尊さを知るために、過去の歴史を自分のものとして受け止め、そこから生きる意味を学ばなければなりません。

【11番目の取引】 アリッサ・ホリングワース/作

世界中に衝撃を与えた9・11のニューヨークの世界貿易センタービルとワシントン郊外のアメリカの国防総省に次々に激突墜落した事件から、もう18年がたとうとしています。アメリカ政府は、国際テロ組織アルカイダによる犯行だと断定し、アフガニスタンへの空爆を開始しました。その結果、アフガニスタンで多数の死傷者と主人公のサミのような難民を生み出しました。

アフガニスタン難民のサミと祖父の生きるすべであり、心のより所だった伝統楽器ルバブが奪われてしまいます。買い戻すには一か月以内に700ドルが必要です。サミは友だちの助けを借りて自分の持ち物で物々交換をはじめます。

サミという人物と、アフガニスタンでの幸せな日々や衝撃の出来事が段々に明らかになっていく巧みな構成に、ページをめくる手が止まらなくなるぐらい感動する作品です。

新刊書の中から

【怪談 5分間の恐怖 第4期】 中村まさみ/著



配架したとたんに全巻なくなるほど評判の人気怪談短編集シリーズの第4弾です。身も凍るほんとうにあった怖い話が満載ですよ。人気の秘密は、ただ怖いだけでなく、命を感じる怪談であること。学校現場で道德怪談と銘打った座談会も開催する著者の「命の怪談」をぜひご堪能ください。

【ラストで君は「まさか」と言うシリーズ PART3 PHP 研究所/編

シリーズ創刊以来、我が校で抜群の人気を誇る、3分で面白いほど読めるどんでん返しのショートストーリーです。ラストには「まさか」なエンディングが待っています。不思議で面白い話、喜び、悲しみ、感謝、思わず涙がこぼれる話など、各巻に25話を収録されています。「冬の物語」、「真夜中の動物園」、「涙の宝石」、「春の物語」、「不思議な友だち」の最新作5作品です。どこからでもすぐに読めて、朝読にも最適なシリーズです。

【5分後シリーズ 朝読セット PART3】 麻希一樹/著

大人気の5分シリーズセットの第3弾。今回も400万作品の中から厳選された秀作ばかりです。ハラハラドキドキのラストが待っている作品から思わず涙があふれてくる胸キュン作品です。

あっという間の5分程度で読めるため飽きっぽい読書嫌いや「朝読」にもピッタリです。読書を通して感動したり、笑ったり、楽しめるのはもちろんのこと、心を豊かにしたり、自分の体験として捉えることもできる作品です。

【青春サプリ。心が元気になる、5つの部活ストーリー】 青木美帆他/著

一日のはじまりに読むと、「今日も頑張ろう！」とちょっぴり前向きな気持ちになれる「読むサプリメント」です。

1話15分ほどで読めて、様々な困難に立ち向かいながら、部活を通して成長していくリアルな中高生たちの「自分を変えたい」「もっと充実した生活がしたい」という悩み、挫折しても諦めず大切な仲間に対する思いなど、感動と勇気を与えてくれます。全国の小さなヒーローたちの実話です。

部活で悩んでいる方にぜひ読んでほしい1冊です。なりたい自分になれるかもしれません。



【図書館版 本の怪談シリーズ 第2期】

緑川聖司/作



「本の怪談」シリーズの作中に「〇〇の本」という謎の怪談本が登場。その本に関わる主人公の周囲で恐ろしい出来事が起こり、気が付くとあなたも怪談の世界へ引き込まれ、あなたが主人公であるかのような気持ちになっていきます。

「怪談収集家 山岸良介」シリーズの登場人物は、全国の本物の怪談を集めて「百物語」の本を完成させることが仕事の山岸良介。山岸さんの助手を務める5年生の浩介は、筋金入りの霊媒体質で、行く先々で霊を呼び寄せてしまう。海水浴にやってきたのに、なぜか「百物語の会」に参加することになり、謎の人、山岸さんの秘密にも迫る主人公です。狭間慎之介は、浩介の同級生で5年前、浩介とともに怖い目にあい、以来怪談嫌いになってしまいました。園田絵里は怖い話が大好きで活発な女の子。浩介の幼なじみです。

靈感の強い方は、高瀬中学校でも何か見えるかもしれませんよ！

【泣いたあとは、新しい靴をはこう】

日本ペンクラブ/編



「親友を裏切ってしまった」「校則って理不届じゃないですか？」「お金がなくても成績を上げる方法がありますか？」ままならない人間関係、経済的な苦しさなど、いま、逆境の中にいるティーンズの悩みに、ペンクラブ作家が言葉をもって向き合う一冊です。

失敗は誰にでもあることです。一人で悩みを抱えないで、本からのアドバイスも凄く参考になりますので、手に取ってみてください。

【10代の悩みがスッキリする読み物】

齋藤 孝他/著

勉強、学校、人間関係、容姿など、悩みが尽きない10代に向けて、「その道」の専門家が解決策を伝授します。

自分自身の心や体を知ること、自信を持って前に進む力が湧いてくるような、身近なエピソードが、10代の悩みに寄り添い応援してくれる本です。

今よりもっといい明日が来ると信じて、勇気をもって進んでいきましょう。



【新選組戦記】

小前 亮/作

近藤勇と土方歳三をはじめとする武衛館の面々は、京都守護職、松平容保の配下に取り立てられ、新選組を結成することになります。

激動の時代を駆け抜けた若き志士たちの姿を少年・市之助の視点で描く新しい新選組です。幕末から明治へ時代の動きがよくわかる、子どもたちが触れるはじめての「幕末」としても最適です。

SDGs（持続可能な開発目標）とは？自分には何ができるか？

【世界を変えるSDGs】 小林 亮/監修



SDGsとは、国連が採択した「だれもが幸せに生きるために2030年までに実現させたい17個の目標」のことです。日本で生活する十代のみなさんに考えて欲しい事柄を、クイズ形式なども駆使して、わかりやすく紹介してあります。様々な教科に関わる1冊です。

【楽しい調べ学習 SDGsと地球環境を考える】全4巻 井出留美/著

海辺の生き物の環境変化に適応した生態の多様性や海洋汚染の影響などを探った「海辺の生き物の大探検」。食品ロスの現状と原因を解説し、減らすための習慣の見直し、家庭や学校でできることなどを紹介した「食品ロスの大研究」。SDGsと私たちとの関りを、身近なゴミ問題から考えた「ごみから考えるSDGs」。ロボット・ドローンなどを駆使、変わりつつある日本の農業を紹介した「スマート農業の大研究」の4巻セットです。

【読み物で考えるSDGs】全7巻

八月のひかり／十歳、ぼくは突然「敵」とよばれた ～日系アメリカ人の政治家ノーマン・ミネタ～／義足と歩む ルワンダに生きる日本人義足装具士／空飛ぶ微生物ハンター／憎しみを乗り越えて 広島を語り継ぐ近藤紘子／こどもしょくどう／星に語りて～Starry Sky～

貧困にあらがう人、平和を願い求める人、病気や障害に立ち向かう人など、子どもから大人まで様々な人々の活躍を紹介する汐文社の読み物最新刊が勢揃いです。未来への希望をつなぐSDGs教育の題材にピッタリです。

【知ろう！減らそう！食品ロス】全3巻 小林富雄/監修

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられる食品のこと。日本では、年間2,842万トンの食品廃棄物が出されます。このうち、食品ロスは646万トン。国民一人当たりで換算すると“お茶わん約1杯分の食べ物”が捨てられていることとなります。大切な資源の有効活用や環境への配慮から、食品ロスを減らすことが必要です。食品ロスを減らすための取り組みを紹介し、子どもたちにもできることを考えさせるシリーズです。

